

地域の安全と安心を守るために

～東消防団と東区少年消防クラブ～

東消防団

明治27（1894）年に札幌村青年会附属消防組として誕生。
現在は269人の団員により1本部、10分団で構成されています。
平成17（2005）年2月には、長年にわたる功績と高い消防技術が認められ、
日本消防協会から消防団の最高栄誉である特別表彰「まとい」が贈られました。



東区役所1階ロビーに飾られている「まとい」

主な活動内容

災害時の消火活動、救助活動、避難誘導など



火災予防の普及啓発

年末年始特別警戒パトロール

火災発生の危険性が高い年末年始に、放送で防火などを呼び掛けながら、地区内を回ります。



危険な場所を注意深くパトロール



みやぎ宮崎班長（中央）をはじめ、機敏な動作の鉄東分団の皆さん

応急手当の普及

「親子クラブ」での応急手当指導
赤ちゃんのいるお父さんお母さんを対象とした、東保健センターの育児支援事業「親子クラブ」で、女性消防団員が応急手当の講習を毎月行っています。



自分の身を守るすべを知るための勉強にもなりますので、皆さんも消防団に入って、自分磨きをしながら地域の安全と安心のために活動しませんか？

女性が活躍する場も多いので、女性の参加もお待ちしています。



北光分団 班長 飯田 夏美さん（左）
北栄分団 団員 望月 奈美さん（右）

日頃から地域の方と顔を合わせ、いざというときに細かい対応ができるのが消防団です。グループホームで避難訓練を行った1週間後に、その施設の隣家で火災があった際、駆け付けた私たちの顔を見て皆さんが安心してくれたときは、とてもやりがいを感じました。

東消防団消防総合訓練大会

年に1回、消防団員と少年消防クラブ員が、日頃の訓練の成果を披露しています。



消防団員による消火訓練



優勝した分団に優勝旗が贈られます



少年消防クラブ員によるロープ結索訓練

